

### 東京での就活 宿泊3週間無料

道内など地方に住む学生が最大3週間、就職活動のために無料で東京都内の宿泊施設を利用できる民間サービス「ジョーカー」(上京就活)が人気を集めている。採用サービス会社のナイモノ(東京)が昨年2月に始め、現在3200人の学生が登録。うち約1割が道内の学生だ。売り手市場のなかで、人材獲得のためITベンチャーなどが資金を負担。学生には就活費用を抑えるメリットがあるが、道内企業の採用には逆風となる可能性もある。

(宇野沢晋一郎)

### IT企業 人材獲得へ支援

参加者はジョーカーを使って上京した地方大学の学生たち。ナイモノはこうした企業側のイベントに4回出席することを条件に、都内のゲストハウスを学生に無償で通常1週間貸し出す。最大で3週間利用が可能だ。条件を満たせば宿泊の代わりに、交通費補助(一律1万5千

## 「ジョーカー」地方学生に人気



①週3回開かれるジョーカーナイト。成長産業と学生の出会いの場になっている。12日、東京都千代田区  
②ジョーカーの都内宿泊施設。北大3年の渋谷優太さん(21)は、すでに入社を打診してきた企業があるという。12日、東京都足立区

円)を選ぶこともできる。参加した小樽商科大3年の神佑弥さん(21)は「何度も友人宅に泊まるのは申し訳ない」として利用した。1週間の東京滞在

中、イベント以外に大手企業なども8社訪問したという。ジョーカーナイトは企業と学生が共に関心を寄せれば、選考に進める仕組み。北海学園大3年の井上茜音さん(21)はこの日が3回目の参加。イベントで出会った2社の選考が進んでおり、都内の通信系ベンチャーが第1志望だ。都内で就活を続けるうち、「早期にキャリアが積める成長企業を志望したい」との意識が強まったという。

ナイモノの霜田孝太社長は「優秀な地方学生へのニーズは強い。距離というハンディを乗り越える仕組みを作りたい」という。昨年の学生の登録者は4500人。費用負担する参加企業もIT系など200社に上った。昨年の参加をきっかけに、4月から都内のITコンサルタント会社に就職する北大経済学部4年の古館佑真さん(23)は「イベントで理解が深まった。入社当初から組織作りに携わりたい」と意欲的だ。

就職情報会社ジェイ・ブロード(東京)の前田健郎北海道支社長は「北大や樽商大などの学生の首都圏志向が強まる可能性がある。道内企業は逆に道外の大学に進んだ道内出身者に目を向ける必要があるかもしれない」と指摘する。